

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 5年 7月 5日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 椎葉村観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 宮崎県東臼杵郡椎葉村	
所在地	宮崎県椎葉村	
設立時期	平成 22 年 1 月 22 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	18 人【常勤 5 人（正職員 5 人・出向等 0 人）、非常勤 13 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	(氏名) 尾前 一日出	(一社) 椎葉村観光協会の代表理事を務める一方、自然環境や伝統文化、民俗芸能等を活かした体験プログラムの指導や新たなツーリズムの開発に取り組んでいる。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー）	(氏名) 椎葉 記史「専従」	(一社) 椎葉村観光協会の事務局長として、地域の観光産業に携わる方々及び各種団体、関係村民の方とのパイプ役であり、各種データの収集、分析や地域観光資源の掘り起こし、ツアー誘致活動、また体験型観光の推進を積極的に取り組んでいる。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	(氏名) 椎葉 奈木沙「専従」	マスメディア等を活用した宣伝活動及び旅行者への営業活動を積極的に取り組んでいる。また、各種収益事業の財務、会計のノウハウを備えている。
物販部門の責任者（専門人材）	(氏名) 山中 宏昭「専従」	椎葉村物産センターの店長として、都市圏での販売促進及び販路拡大に取り組んでいる。また、飲食部門・物販部門においては、地域ならではの食材を提供するための仕組みづくりを行っている。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	宮崎県椎葉村地域振興課	
連携する事業者名及び役割	<ul style="list-style-type: none"> ○椎葉村観光プロジェクト実行委員会(計画・立案) ○椎葉村ツーリズムネットワーク、椎葉村観光ガイド協会、椎葉村漁業協同組合、焼畑蕎麦苦楽部、扇山会、大河内森林ガイドの会、下松尾棚田を守る会、八村会(旅行商品体験及びガイド受入) ○旅館民宿飲食店(食の開発、ホスピタリティ向上) 	

	<p>○椎葉村商工会(商店街活性化)</p> <p>○椎葉村村おこしグループ、アンテナショップ「椎葉里人倶楽部」(土産品開発)</p>								
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】 (概要)</p> <p>当協会理事の中に、多様な関係者が参画しており、年数回の理事会を開催している。その他、椎葉村観光振興計画の具現化を目指し、椎葉村観光プロジェクト実行委員会を設置している。日常的な調整は担当者レベルで定期的な会議を開催している。</p>								
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>当協会が主催するツアーは、対外的に募集を行いつつ、村内の方々にも参加を促し、参加された方々と観光地域づくりについて意見交換を行っている。</p>								
法人のこれまでの活動実績	<p>【活動の概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td> <td> <p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「新たな顧客の創出と効果的な情報発信を目的とした SNS 広告等を利用した観光プロモーションの実施」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SNS 運営目的の設定 ○最新のアルゴリズムに基づいた運用方針の設計 ○自力で運用できる体制の構築 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マスメディア等への情報提供 ○SNS・HP による定期的な情報掲載 ○ファンクラブ「しば好き人」を活用したリピーター確保 ○旅館民泊宿泊クーポン割引事業 ○観光レディ・マスコットキャラクターPR 事業 </td> </tr> <tr> <td>受入環境の整備</td> <td> <p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「観光ガイドの育成と確保を目的としたガイド養成塾の開催」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(株)ヤママップと共同しインタープリター研修 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2 次交通解消を目的に自家用有償旅客運送事業実施 ○観光ガイド・体験指導者の人材育成支援 ○登山道整備 </td> </tr> <tr> <td>観光資源の磨き上げ</td> <td> <p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「ツアー商品のブラッシュアップと新たなツアー創出を目的としたモニターツアーの実施」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魚の石焼き・山ヨガ・星空及び雲海鑑賞など、本村ならではのツアー商品のブラッシュアップとモニターツアーの実施 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光イベント開催 ○旅行商品の造成・販売・受入 </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「新たな顧客の創出と効果的な情報発信を目的とした SNS 広告等を利用した観光プロモーションの実施」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SNS 運営目的の設定 ○最新のアルゴリズムに基づいた運用方針の設計 ○自力で運用できる体制の構築 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マスメディア等への情報提供 ○SNS・HP による定期的な情報掲載 ○ファンクラブ「しば好き人」を活用したリピーター確保 ○旅館民泊宿泊クーポン割引事業 ○観光レディ・マスコットキャラクターPR 事業 	受入環境の整備	<p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「観光ガイドの育成と確保を目的としたガイド養成塾の開催」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(株)ヤママップと共同しインタープリター研修 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2 次交通解消を目的に自家用有償旅客運送事業実施 ○観光ガイド・体験指導者の人材育成支援 ○登山道整備 	観光資源の磨き上げ	<p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「ツアー商品のブラッシュアップと新たなツアー創出を目的としたモニターツアーの実施」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魚の石焼き・山ヨガ・星空及び雲海鑑賞など、本村ならではのツアー商品のブラッシュアップとモニターツアーの実施 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光イベント開催 ○旅行商品の造成・販売・受入
事業	実施概要								
情報発信・プロモーション	<p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「新たな顧客の創出と効果的な情報発信を目的とした SNS 広告等を利用した観光プロモーションの実施」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SNS 運営目的の設定 ○最新のアルゴリズムに基づいた運用方針の設計 ○自力で運用できる体制の構築 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マスメディア等への情報提供 ○SNS・HP による定期的な情報掲載 ○ファンクラブ「しば好き人」を活用したリピーター確保 ○旅館民泊宿泊クーポン割引事業 ○観光レディ・マスコットキャラクターPR 事業 								
受入環境の整備	<p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「観光ガイドの育成と確保を目的としたガイド養成塾の開催」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(株)ヤママップと共同しインタープリター研修 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2 次交通解消を目的に自家用有償旅客運送事業実施 ○観光ガイド・体験指導者の人材育成支援 ○登山道整備 								
観光資源の磨き上げ	<p>・令和4年度地域の稼げる看板商品創出事業「ツアー商品のブラッシュアップと新たなツアー創出を目的としたモニターツアーの実施」</p> <p>※具体事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魚の石焼き・山ヨガ・星空及び雲海鑑賞など、本村ならではのツアー商品のブラッシュアップとモニターツアーの実施 <p>※その他事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光イベント開催 ○旅行商品の造成・販売・受入 								

	<p>【定量的な評価】</p> <p>① ファンクラブ会員数 令和3年度[1,535名]→令和4年度[1,575名]</p> <p>② 物産販売所シーズン企画販売数 令和3年度[773セット]→令和4年度[808セット]</p> <p>③ 観光ガイド案内依頼数 令和3年度[18件]→令和4年度[31件]</p>
<p>実施体制</p>	<p>【実施体制の概要】</p> <p>当協会の理事・会員には、行政、宿泊施設、飲食店のみならず、建設業者や各種団体など多様な関係者が参画し、官民が密接に連携した運営を実施。また、役員体制についても宛職から専門性の高い役員へ変革を行ってきた。</p> <p>【実施体制図】</p> <pre> graph TD A[最終意思決定機関 総会] --- B[役員による意思決定、 合意形成 理事会] B --- C["(一社)椎葉村観光協会"] C --- D[連携] D --- E[椎葉村役場担当課] D --- F[観光プロジェクト実行委員会] E --- G[連携する協議会等] F --- G G --- H[ツーリズムネットワーク] G --- I[旅館民宿飲食店] G --- J[各種団体(神楽保存会・民謡会等)] G --- K[ガイド協会] G --- L[商工会・商店街] G --- M[地域住民] </pre>

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成 26 年に第 4 次椎葉村観光振興計画が策定され、平成 26 年から令和 5 年までの 10 年間の計画がスタートしました。これまで、この計画を基本として、計画の具現化を目指し、本村では、村内異業種・各種団体が組織した観光プロジェクト実行委員会を立ち上げ、観光施策の検討や評価・観光振興事業の提案等を行ってきました。また、来年度から第 5 次椎葉村観光振興計画が策定されることから、行政担当課と共にこれまでの取り組みの現状分析と課題整理を行い、今後の観光振興施策の方向性を示していきます。

【観光客の実態等】

観光入り込み客数は、令和元年の 141,728 人をピークに減少傾向にあり、令和 4 年度は 99,578 人にまで落ち込んでいます。ここ数年のコロナ過や昨年発生した台風 14 号が影響していると考えられます。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

観光客入込客数 (99,578 人)

※主な観光施設

- ① 鶴富屋敷 (4,312 人)
- ② 椎葉民俗芸能博物館 (2,377 人)
- ③ 椎葉村物産センター平家本陣 (43,962 人)
- ④ 交流拠点施設カテリエ (15,514 人)
- ⑤ 上椎葉ダム (5,258 人)
- ⑥ 八村杉 (2,679 人)

※主なイベント

- ① 上椎葉魚釣り大会 (0 人) 中止
- ② 椎葉銀座さるく (400 人)
- ③ 扇山山開き (56 人)
- ④ しいば花火大会 (700 人)
- ⑤ 尾向溪谷まつり (100 人)
- ⑥ 矢立高原まつり (0 人) 中止

- ⑦ ひえつき節日本一大会(0人)中止
 ⑧ 椎葉平家まつり(0人)中止
 ⑨ 上椎葉ダム観光放流(0人)中止

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

宿泊客数(9,144人)

宿泊施設数(22軒)【内、旅館民宿15軒、農家民宿3軒、簡易宿所2軒、キャンプ場2軒】

宿泊施設最大収容人数(391人)

※域内分布

- ① 大字下福良9軒【内、簡易宿所1軒、キャンプ場1軒】
 ② 大字不土野9軒【内、簡易宿所1軒】
 ③ 大字大河内5軒【内、農家民宿3軒、キャンプ場1軒】

【利便性：区域までの交通、域内交通】

公共交通機関

- 宮崎県日向市駅から宮崎交通バス往復1日3便

自家用車

- 博多駅から約3時間30分
- 熊本駅から約2時間30分
- 熊本空港から約2時間
- 日向市駅から1時間20分
- 高千穂町から1時間10分

【外国人観光客への対応】

平成29年8月にJNTO外国人観光案内所(カテゴリー1)に認定され、インバウンド対応の強化を進めている。また、パンフレットについても日本語版に加え英語版のパンフレットも制作した。ホームページについては、平成30年3月に多言語対応のホームページとしてリニューアルし、外国人観光客に向けての対応を行っている。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	自主事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	宿泊施設に依頼し毎月実績報告を提出。
来訪者満足度	来訪者の満足(不満足)に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用して実施。
宿泊施設について	お客様のニーズを確認し、お宿へフィードバックをする。	アンケート調査を宿泊施設に依頼。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

椎葉村には、豊かな自然環境や民俗文化・伝統芸能、また、平家まつりをはじめとした観光イベントなど、数多くの観光資源があります。

しかし、観光客数については、台風災害により激減した平成17年からは微増傾向にはあるものの、ピーク時の数には遠く及ばず、さらには、アクセス道路の改良等で日帰り型観光も増加しているため、より多くの人々が繰り返し訪れ、滞在する観光地づくりに向けた一層の取り組みが求められている状況にあります。

このような中、これまでに、村民総力戦を想定した観光の村づくり応援事業や観光ガイドの養成、しいば好き人(ファンクラブ)事業、観光協会の体制強化、平家さくらの森や鶴富屋敷周辺整備による新たな観光名所づくりなど、誘客につながる事業を展開しています。

また、本村の資源を活かした体験型観光については、体験プログラムの商品化や提供者のレベルアップを目的としたツーリズムネットワークの立ち上げ、農家民宿の開業支援、体験ツアーの誘致などに積極的に取り組んでいます。

このほか、登山道の整備や登山ガイドの支援、希少植物の保護といった自然観光資源の充実や駐車場・観光トイレ・案内看板といった観光施設の整備、ホームページやパンフレット等でのきめ細かな情報提供、広域連携による圏域での誘客など多面的に観光振興を図っています。

今後も、観光産業は、他産業にも経済効果を波及する重要な産業として位置づけ、既存資源の一層の活用や新たな資源の掘り起こしなど、村の持つ資源を有効的に活用した観光地づくりを推進していく必要があります。

こうした地域の課題に対し、観光協会を核とした誘客対策事業の展開、イベントの充実や観光施設の整備、ガイドや宿泊業者等への研修機会の提供などによるホスピタリティの向上、本村の観光資源を有効に活用した体験型観光の推進など観光基盤の強化に努めていきます。

また、広域的な取り組みによる観光振興を進め、さらなる交流人口の増加を図ります。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然と美しい景観 ・平家落人伝説 ・日本三大秘境 ・世界農業遺産の資源(焼畑農業・神楽等) ・ダムファン 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・観光に対する村民の認識不足 ・交通アクセス、公共交通機関 ・温泉がない ・インバウンド対応の遅れ ・宿泊施設や飲食店の受入環境不足 ・人材不足
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの増加 ・九州中央自動車道の整備 ・サステナブルツーリズムの需要増 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、後継者不足 ・災害 ・景気後退

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入(様式自由)。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 福岡都市圏を中心とした30~50代の女性
○選定の理由 本村に観光で来られるお客様は、60代から70代が多いが、当該ターゲット層の方が、宣伝力もあり本物志向を望む傾向にあるため。、当該層に訴求するような、「楽しみ・発見・学び・人のつながり」がある旅行商品のデータ収集や分析等を行いながら、新たな分野のツーリズム開発に取り組む。
○取組方針 当該層に訴求するような、「楽しみ・発見・学び・人のつながり」がある旅行商品のデータ収集や分析等を行いながら、強かに訴求するコンテンツを磨き上げる。
○ターゲット層
○選定の理由
○取組方針

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	郷土食や郷土芸能・歴史等、椎葉村の日常の暮らし触れる「ありのままの椎葉を体験するプログラム」を広くアピールし、椎葉ならではのツーリズム構築を目指す
②コンセプトの考え方	集客力を高めるためには、現存する観光資源（もの・人）をさらに磨きをかけると共に、新たな魅力を加える事により付加価値を向上させる事が必要。そのために、歴史や文化、郷土食等、女性が訪れたいくなるようなストーリー性のある観光ルートの開発、椎葉ならではの自然や伝統、人、農業、食文化等をフルに活用した滞在型、体験型観光を整備する。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	観光プロジェクト実行委員会や旅館民宿飲食店・椎葉村観光ガイド協会・ツーリズムネットワークで共有 上記の観光関連事業者を集めて、年間3回程度コミュニケーションの場を設けるとともに、関連事業者と共同でイベント開催等を行っている。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	○宿泊については、宿泊者アンケート調査を行い、結果を基に宿泊施設へフィードバックし改善点の情報共有を行う。 ○ツーリズムネットワーク(体験指導者組織)を中心に体験プログラムを提供し、PDCAサイクルに取り組む。 ○来訪者については、当協会がアンケート調査を行い、改善点を理事会や総会において情報共有を行う。

観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ○ワンストップ窓口の実施。 ○インバウンドの受入環境の整備と情報発信。 ○マスメディアや SNS を活用したプロモーション。 ○旅行者のニーズに応じた明確な方向性を持った営業活動。 ○おつるちゃん(マスコットキャラクター)を前面に出した観光 PR 活動 ○国、県等が実施する観光キャンペーンやフィルムコミッション活動に積極的に参加する。 ○各種の観光プロモーションの取り組みや計画の具現化の中で「しいば好き人」(村外の椎葉ファン)会員に広報宣伝の協力を求める。
---------------------------------------	--

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須K P I

指標項目		2020 (R 2) 年度	2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	1,265 ()	1,309 ()	500 ()	550 ()	600 ()	650 ()
	実績	515 ()	466 ()	446 ()			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	13.5 ()	14 ()	10 ()	10.5 ()	11 ()	11.5 ()
	実績	7.8 (0.01)	8.9 (0)	9.1 (0.01)			
●来訪者満足度 (%)	目標	100 ()	100 ()	100 ()	100 ()	100 ()	100 ()
	実績	82 ()	81 ()	87 ()			
●リピーター率 (%)	目標	45 ()	50 ()	55 ()	60 ()	65 ()	70 ()
	実績	43 ()	46 ()	53.9 ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

第4次椎葉村観光振興計画(平成26年度～令和5年度)の目標値と整合を取り設定。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

宿泊観光客数及び日帰り観光客数それぞれの平均単価で算出。年度目標宿泊観光客数と日帰り観光客数に比例し、旅行消費額を設定。実績の推移を見ながら今後の計画を見直す。

●延べ宿泊者数

毎年、村内の宿泊施設に依頼し、実績数を計上。年度目標として毎年500名を増やした数字で設定。

●来訪者満足度

満足度としては毎年100%の目標を設定。

●リピーター率

平成29年度より宿泊者に対するアンケート調査(リポート訪問率)を開始した。毎年5%増を目標設定数値とする。

(2) その他の目標

指標項目		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度	(R6) 年度	(R7) 年度
●観光客数 (人)	目標	150,000 (200)	155,000 (300)	110,000 (50)	115,000 (100)	120,000 (150)	125,000 (200)
	実績	72,065 (17)	97,160 (0)	99,578 (11)			
●ワンストップ 窓口案内数 (%)	目標	850 ()	950 ()	750 ()	800 ()	850 ()	900 ()
	実績	670 ()	692 ()	1,099 ()			
●ホームページ アクセス数 (PV)	目標	450,000 ()	500,000 ()	400,000 ()	410,000 ()	420,000 ()	430,000 ()
	実績	378,703 ()	389,197 ()	324,877 ()			
●	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()			
●	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

第4次椎葉村観光振興計画(平成26年度～令和5年度)の目標値と整合を取り設定。

【設定にあたっての考え方】

●観光客数

観光入込客数については、年度目標として毎年5,000名を増やした数字で設定。

●ワンストップ窓口での案内回数

平成29年度より当協会での窓口案内数(飲食店・宿泊手配を含む)調査を開始した。宿泊については、OTAでの宿泊予約も多いが、本村の場合は60代以上の宿泊者も多く、電話による予約が大半を占めており、当協会では手配予約を行っている。引き続きワンストップで対応できるよう努める。

●ホームページアクセス数

Google Analyticsを活用し、アクセス状況を把握している。引き続き週な情報を提供することに努め、毎年度のアクセス状況を確認し、目標値を設定する。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳(具体的に記入すること)
2020(R2)年度	114,150,405(円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 1,020,000円 【市町村からの補助金】 34,424,000円 【公物管理受託】 8,913,232円 【収益事業】 62,333,305円 【会費】 436,000円 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)・繰越金等】 7,023,868円
2021(R3)年度	146,221,583(円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 436,200円 【市町村からの補助金】 22,501,000円 【公物管理受託】 65,374,392円 【収益事業】 52,992,852円 【会費】 440,000円 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)・繰越金等】 4,477,139円
2022(R4)年度	110,452,665(円)	【国からの補助金】 3,837,852円 【都道府県からの補助金】 0円 【市町村からの補助金】 22,531,000円 【公物管理受託】 14,832,231円 【収益事業】 62,435,624円 【会費】 432,000円 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)・繰越金等】 6,383,958円
2023(R5)年度	117,458,000(円)	【国からの補助金】 0円 【都道府県からの補助金】 50,000円

		【市町村からの補助金】 23,005,500 円 【公物管理受託】 17,554,229 円 【収益事業】 68,013,300 円 【会費】 432,000 円 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）・繰越金等】 8,402,971 円
2024（R6） 年度	117,450,000（円）	【国からの補助金】 1,000,000 円 【都道府県からの補助金】 1,000,000 円 【市町村からの補助金】 20,000,000 円 【公物管理受託】 18,000,000 円 【収益事業】 70,000,000 円 【会費】 450,000 円 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）・繰越金等】 7,000,000 円
2025（R7） 年度	121,000,000（円）	【国からの補助金】 1,000,000 円 【都道府県からの補助金】 1,000,000 円 【市町村からの補助金】 18,000,000 円 【公物管理受託】 18,000,000 円 【収益事業】 75,000,000 円 【会費】 500,000 円 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）・繰越金等】 7,500,000 円

（2）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度	107,927,259（円）	【一般管理費】 85,301,259 円 【情報発信・プロモーション】 1,639,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 19,411,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 1,165,000 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 411,000 円 【観光イベントの開催費等】 0 円
2021（R3） 年度	140,794,639（円）	【一般管理費】 131,801,207 円 【情報発信・プロモーション】 4,025,532 円 【受入環境整備等の着地整備】 3,686,273 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 989,335 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 292,292 円 【観光イベントの開催費等】 0 円
2022（R4） 年度	104,500,392（円）	【一般管理費】 81,852,012 円 【情報発信・プロモーション】 3,855,376 円 【受入環境整備等の着地整備】 2,899,019 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 15,403,432 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 490,553 円 【観光イベントの開催費等】 0 円
2023（R5）	115,458,000（円）	【一般管理費】 95,000,000 円

年度		【情報発信・プロモーション】 4,500,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 3,500,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 11,000,000 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 958,000 円 【観光イベントの開催費等】 500,000 円
2024（R6） 年度	115,450,000（円）	【一般管理費】 96,000,000 円 【情報発信・プロモーション】 3,300,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 4,000,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 10,000,000 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 1,500,000 円 【観光イベントの開催費等】 650,000 円
2025（R7） 年度	119,000,000（円）	【一般管理費】 98,000,000 円 【情報発信・プロモーション】 3,500,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 3,500,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 11,300,000 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 2,000,000 円 【観光イベントの開催費等】 700,000 円

（3）自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

○着地型旅行商品の造成・販売

・着地型旅行商品を企画・開発・販売するためには、旅行関係機関、行政に加え、村民一人ひとりの協力が必要であり、専門チーム（組織）を設置し、自ら情報発信をするとともに、広告媒体（テレビ局・雑誌社等）を上手く活用しながら、商品販売を行っていく。併せて、手配旅行・旅行相談契約等も行い、手数料収益も上げていく。

○特産品販路拡大・インターネットショッピングモールの増客

・本協会が運営している特産品販売所「平家本陣」を中心に、都市圏での販売会及び商談会の開催、インターネットショッピングモール増客を図り、販売促進及び販路拡大に取り組んで行く。また、レストランでは、材料のほとんどを村産品とすることで地産地消を推進し、椎葉ならではのメニュー開発を行い、村内で消費拡大出来る仕組み作りを促進しながら、安心安全な食の提供を行うことで、健康志向の客層へ広くアピールしていく。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

椎葉村観光協会は、当村が推進する観光プロジェクトの基軸として、活動を積極的に展開しております。当村における地方創生の人口ビジョンを語る上で、椎葉村の魅力発信と観光推進による交流人口の増加、関係人口の増加は移住定住につながる期待は大きいものがあります。また、当村の長期総合計画でも移住定住問題を重要施策としており、村内での新たな雇用の創出とともに、後継者不足が深刻な問題となっている農林業、商工業等の担い手不足の解消にも繋がると考えます。その中核を担う椎葉村観光協会が果たす役割は極めて重要です。

また、これまで実施した事業の中で、様々なジャンルの事業所、住民との関わり、中学生への観光をテーマとした教育への支援など地域と積極的に関わりながら事業展開をしてきたことで、

郷土に誇りを持つ村民の育成にも大きく寄与しており、地域活性化にも大いに繋がっていることから、地域の舵取り役として十分な資質を備えており、期待が持てる団体です。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

--

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	椎葉記史
担当部署名（役職）	一般社団法人椎葉村観光協会（事務局長）
郵便番号	883-1601
所在地	宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良 1826 番地 108
電話番号（直通）	0982-67-3139
F A X 番号	0982-67-3155
E - m a i l	Shiiba-norifumi@shii bakanko.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	宮崎県椎葉村
担当者氏名	綾美智代
担当部署名（役職）	地域振興課課長補佐兼商工観光グループ長
郵便番号	883-1601
所在地	宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良 1762 番地 1
電話番号（直通）	0982-67-3203
F A X 番号	0982-67-2825
E - m a i l	Aya-michiyo@vill.shiiba.miyazaki.jp

記入日: 令和 5年 7月 5日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

宮崎県椎葉村

【設立時期】 平成22年1月22日

【設立経緯】

観光協会が地域DMOとして登録

【代表者】 尾前 一日出

【マーケティング責任者(CMO)】 椎葉 記史

【財務責任者(CFO)】 椎葉 奈木沙

【職員数】 18人(常勤5人(正職員5人・出向等0人)、非常勤13人)

【主な収入】

収益事業 62百万円、委託事業 14百万円(令和4年度決算)

【総支出】

事業費 22.6百万円、一般管理費 81.5百万円(令和4年度決算)

【連携する主な事業者】

椎葉村観光プロジェクト実行委員会、ツーリズムネットワーク、村内旅館民宿、観光ガイド協会、商工会、商店街、交通事業者、椎葉村

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行消費額 (百万円)	目標	1,265 ()	1,309 ()	500 ()	550 ()	600 ()	650 ()
	実績	515 ()	466 ()	446 ()	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	13.5 ()	14 ()	10 ()	10.5 ()	11 ()	11.5 ()
	実績	7.8 (0.01)	8.9 (0)	9.1 (0.01)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	100 ()	100 ()	100 ()	100 ()	100 ()	100 ()
	実績	82 ()	81 ()	87 ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	45 ()	50 ()	55 ()	60 ()	65 ()	70 ()
	実績	43 ()	46 ()	53.9 ()	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

福岡都市圏を中心とした30~50代の女性

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

当該層に訴求するような、「楽しみ・発見・学び・人のつながり」がある旅行商品のデータ収集や分析等を行いながら、強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

【観光地域づくりのコンセプト】

椎葉の日常・暮らしを楽しむ

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

・着地型旅行商品の造成・販売

【受入環境整備】

・自家用有償旅客運送事業
・旅館民宿等wifi環境整備
・観光ガイド案内人養成講座
・観光トイレ維持管理

【情報発信・プロモーション】

・SNS、HPでの情報発信
・マスメディア、旅行会社等招聘事業
・観光レディ、マスコットキャラクターPR事業
・ファンクラブ運営、情報発信
・椎葉の四季フォトコンテスト事業

【その他】

・特産品販売所運営



川遊びツアー造成



山菜学校ツアー造成